

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表！ 『ヤマハ・MT-07』が首位を獲得！

対象期間 2015年3月～5月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2015年3月～5月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。13回目となる今回は「ヤマハ・MT-07」が首位獲得となりました！

◇ 『ヤマハ・MT-07』が首位に！

◇ 『ヤマハ・MTシリーズ』が首位～4位を席卷。

◇ 常連となっている『カワサキ・ZR1200 DAEG』、『ホンダ・モンキー』も順当にランキング。



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、増木

TEL 03-6803-8867

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：淀瀬、岩岡

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

バイク王 バイクライ7研究所

■ 総合ランキング

順位	前回	回数	メーカー・車種	リセール・プライス
1	2	2	ヤマハ・MT-07	95.5Pt
2	3	3	ヤマハ・MT-09(ABS)	90.6Pt
3	5	3	ヤマハ・MT-09	90.0Pt
4	-	初	ヤマハ・MT-07(ABS)	85.8Pt
5	-	初	ホンダ・NC750X TypeLD	83.1Pt
6	-	初	ヤマハ・YZF-R25	82.0Pt
7	-	初	ホンダ・CRF250L	80.8Pt
8	-	6	ホンダ・モンキー	80.6Pt
9	8	4	カワサキ・ZRX1200DAEG	80.3Pt
10	-	4	ヤマハ・TMAX530	80.1Pt

◇今回対象期間 2015年3月～5月、前回対象期間 2014年12月～2015年2月

13回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ヤマハ・MT-07』が2位に4.9pt差を付け首位に輝きました。

大型二輪でありながら普段着感覚で走りを楽しめる。軽量コンパクトな車体とトルクフルな2気筒エンジンのMT-07は、そのスタイリッシュなデザインが評価され、「Red Dot Award：プロダクトデザイン2015」を受賞。さらに受賞製品の中でも特に優れたデザインに贈られる“Best of the Best”に選出された一台です。

第4位までがMTシリーズ、第5位にはホンダ・NC750X TypeLDといった、軽量・コンパクトで扱いやすい大型車両が強みを見せている一方、第6位にはヤマハ・YZF-R25、第7位にはホンダ・CRF250Lが初ランクインしました。

今回のランキングでは、大型二輪が数多くランクインしていることから、夏のバイクシーズンに向けて、その人気が高まってきていると言えるのではないのでしょうか。

ライダー待望のシーズンが到来することで、今後ランキングも大きな変動を見せるのでしょうか？引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・モンキー	80.6Pt
2	ホンダ・リード 125	76.1Pt
3	ホンダ・PCX	76.0Pt
4	ホンダ・CROSS・CUB	74.7Pt
5	ホンダ・スーパーカブ 50	73.0Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・YZF-R25	82.0Pt
2	ホンダ・CRF250L (エクストリームレッド)	80.8Pt
3	ヤマハ・SEROW 250	78.6Pt
4	カワサキ・Z250	77.5Pt
5	カワサキ・ESTRELLA	76.7Pt

バイク王 バイクライフ研究所

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja・400	72.9Pt
2	ヤマハ・SR400	66.9Pt
3	ホンダ・CB400SUPERFOUR	66.7Pt
4	ホンダ・VT400S	65.5Pt
5	ヤマハ・DS4	63.7Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・MT-07	95.5Pt
2	ヤマハ・MT-09(ABS)	90.6Pt
3	ヤマハ・MT-09	90.0Pt
4	ヤマハ・MT-07(ABS)	85.8Pt
5	ホンダ・NC750X TypeLD	83.1Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2015年7月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間12.4万台の取り扱い台数を誇るバイク買取専門店『バイク王』のデータを基に、**バイク王 バイクライフ研究所**が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2015年7月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2015年7月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史